

平成30年度（第13期第1回）小平市廃棄物減量等推進審議会 要録

1 日時

平成30年8月6日（月）午後1時～3時

2 開催場所

健康センター4階 第2～4会議室

3 出席者

小平市廃棄物減量等推進審議会委員：18人（欠席者1人）

事務局：環境部長、資源循環課長、廃棄物減量施策担当課長、課長補佐兼管理担当係長、課長補佐兼施設整備担当係長、廃棄物減量施策担当係長、推進担当係長、事務局職員4名

4 傍聴者

なし

5 配布資料

- 資料1 第13期 廃棄物減量等推進審議会委員名簿
- 資料2 一般廃棄物処理基本計画の数値目標等（平成29年度実績）
- 資料3 整備・更新施設の概要について
- 資料4 廃棄物減量等推進審議会 関連法規
- 資料5 第12期廃棄物減量等推進審議会 答申書
- 資料6 一般廃棄物処理基本計画（改訂）：概要版
- 資料7 災害廃棄物処理計画：概要版
- 資料8 一般廃棄物処理基本計画（改訂）
- 資料9 家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画：概要版
- 資料10 家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行実施計画
- 資料11 清掃事業概要 平成29年度版

6 議題（次第）

- (1) 委員委嘱状交付
- (2) 諮問
 - ① ごみの減量・資源化に向けた今後の施策について
 - ② ごみの減量・資源化に向けた市民・事業者・行政の協働のあり方について
- (3) 事務局報告
- (4) 議事
 - ① 一般廃棄物処理基本計画の数値目標について（平成29年度実績）
- (5) その他

7 会議の概要

(1) 委員委嘱状交付

市長 委嘱状を読み上げ、各委員に手交

委員 委員の互選による会長・副会長の選出、会長に山谷修作委員、副会長に滝沢三千代委員、

渡辺浩平委員が選出される

(2) 諮問

市長 諮問書を読み上げ、会長に手交

事務局 諮問書の内容を説明

委員 質問なし

(3) 事務局報告

事務局 小平市のこれまでのごみ減量の取り組みについて説明

会長 事務局報告はペーパー化してご用意いただきたい。

委員 昨年度中で、課で作成・配布したチラシの枚数はどれだけですか。

事務局 9月と3月にごみらいふという広報誌をそれぞれ59,700部新聞折込で、10月に市報特集号を91,500部全戸配布しました。家庭ごみの有料化及び戸別収集への説明会の内容を、各自治会の会長あてにご案内の文書とともに発送しました。

会長 丹念に配布物に目を通しておられれば、市民に伝わるような機会は得られているようです。

委員 小平市のごみは年々減ってきていて、5,500トンというのは最終処分量でしょうか。

事務局 ごみ処理量の数値的なものは、次の議題でご説明いたします。

(4) 議事

①一般廃棄物処理基本計画の数値目標について（平成29年度実績）

事務局 資料2に沿って説明

委員 減量の目標は何なのでしょう。

事務局 市民一人が一日に出すごみと資源の合計量（排出物原単位）を平成34年度までに640g以下にするなど、計画に沿った減量の様々な施策が必要になっております。

会長 いろいろなカテゴリをとらえて減量しており、これからは家庭ごみの減量をはかろうとしているということです。多方面からの減量をして、最終的に排出物の減量につなげる形です。

委員 減量の計画のビジョンは何ですか。また、目標値とは何でしょうか。

事務局 本来はすべてのごみを減らす、あるいは資源化するには、排出前に発生抑制をするのが一番大きな課題と捉えています。小平市の特徴としては、事業所のごみの排出量が少ないことがあり、家庭系のごみの排出を対策することになります。しかし資源化を進めるのに必要な設備が小平市には整っておらず、他市では資源化している容器包装プラスチックのうち軟質の物を処理できず、これまでは燃えるごみとしていました。これを新しい設備で処理すれば、最終処分場に持ち込む焼却灰が減り、市民の皆様の負担も減ります。

会長 減量の狙いは環境負荷を減らすということが一番かと思えます。最終処分場も延命化するために、ごみの量を減らさなければいけない。また、中間処理施設を建設するには大きなコストがかかりますが、行政全体の行為として必要です。委員ご指摘の通り、様々な側面があり、それに対応していかなければならない。家庭ごみについては1年後に有料化が控えており、負担が増えるということは、ごみを減らす要因になります。

しかし、それだけでは限度があり、さらなる減量には価格インセンティブに加え、意識改革を引き起こせるプログラムに仕上げていくように、今回市長からの諮問があったものと捉えています。ごみと資源の発生抑制を引き出していくプログラムについて審議し、さらには市民・行政・事業者の三者が一緒に考える枠組みが必要だと思えます。本審議会はこうした検討課題に答えを出して、市長の期待に応えていかなければならないと思えます。

委員 これから2年間審議を行うわけですが、スケジュールや具体的な方針はありますか。

事務局 年内に予定しています施設見学等で小平市の環境行政がどういう状況にあるのか、他市がどういう状況にあつて小平が今後どういう道を進んでいくのか共通認識をいただいて、明年から本

格的な審議になろうかと思えます。また今回は2つの諮問をいただいておりますので、一つづつやるのか二つの諮問を平行にやるのか、また議論の量の割合について、会長・副会長と今後ご相談させていただきたいと思えます。

委員 武蔵野市が新しいごみ処理施設を造ったと聞きます。これを見学できないでしょうか。
会長 委員が希望されるのであれば、予約なしで行けますのでご覧になれるのもよいかと思えます。

(5) その他

事務局 次回の開催は見学等を10月29日に予定しています。